

大会特集号



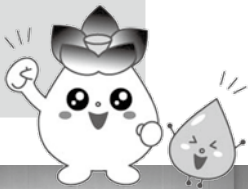
府職の友

FUSYOKU NO TOMO

2052号 2017年1月25日

発行所／大阪府関係職員労働組合
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59
電話 06(6941)0351・内線3740
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541
Eメール info@fusyokuro.gr.jp
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp
発行人／有田 洋明 編集人／小松 康則
(一部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。

府職労第96回 定期大会



No Union No Life 今も未来も輝く社会を



12月20日、府職労は第96回定期大会(大阪府関係職員労働組合第12回定期大会・大阪府職員労働組合第96回定期大会・大阪府立病院機構労働組合第12回定期大会)をエールおおさか南館ホールで開催しました(女性参加率は51%、20代・30代の参加率は16%)。2017年度運動方針案をはじめ、すべての議案を全会一致で可決しました。また、特別決議「沖繩・高江のヘリパッドと辺野古新基地建設に反対し、憲法を活かし、平和で民主的な社会をつくる決議」も採択しました。

大会では、府職労と病院労組の各支部、環境水研労組、産技研労組、府公職労、地区評、専門部から26名の代議員が発言(女性11人(42%)、青年4人)がありました。この間の運動を反映して、青年・若手・女性の活躍も反映し、この1年間の職場・地域での豊かな経験にもとづき、貴重な教訓が語られ、さまざまな攻撃が続くことでも、府民のために、引き続き奮闘します。

代議員の発言

青年の疑問・要求に答える活動 すすめたい



加藤代議員 (青年部)

2015年4月に採用された「歓迎パーティー」への参加をきっかけに府職労に加入しました。仕事で困っていることや悩みも気軽に相談できるため、ストレスを溜めずに仕事ができます。職場の組合役員が中心となって職員の交流の場を設けてくれるので、働きやすい和やかな雰囲気職場になっていきます。組合員歴2年目ですが、この間いろいろなお取り組みに参加し、おきなわ平和ツアーにも参加しました。戦争について学んでいましたが、どこか現実味を感じられず、は、わずか70年ほど前に実際に戦争があったことを肌で感じる事ができ、テレビで報道されない話を聞いて、とても勉強になりました。

わからないことだらけですが、府職員の労働環境や賃金の低さに疑問を持っていないながらも、改善に向けて行動する機会や知識も少ないため、自ら活動し勉強し

たいと思ひ、青年副部長になりました。青年部として、より活動を活性化させ、組織拡大にも力を入れています。府職労の将来を見据え、1人の青年として積極的に参加し、まわりにも呼びかけていきます。

やりがいある仕事・職場の実現へ 声をあげよう



高野代議員 (呼吸器・アレルギー医療センター支部)

呼吸器・アレルギー医療センターでは分娩件数が急増し、月80〜100件の出産があり、誘発分娩の入院が3〜4件重なることもあります。新しい命が生まれることは、とても喜ばしく、私たちのやりがいにつながっています。分娩件数の増加による人手不足のため、ゆっくり患者さんを見てあげることができず、とてもつらい思いになります。

月8回以内の夜勤体制には21名の助産師が必要ですが、正規の助産師は16名しかいないので、夜中に出産が重なった場合は、翌日の日勤の人に急ぎよ来てもらう、対応してもらうという状況です。

遊歩道

安倍首相の顔をしたゴジラが街中を闊歩し、人気アニメ映画と共演させたこの世界の片隅の君の名は、晋「ゴジラ」という風刺画が面白い。作者の吉田照美氏は、『この世界の片隅に』はヒロシマ原爆、『君の名は』はフクシマ原発事故、『シン・ゴジラ』は核実験から生まれた巨大生物という三つの共通点を挙げ、「戦争をやりたい馬鹿な政治家に『この世界の片隅に』を絶対見させたい」とコメント。施政方針演説で安倍首相は「次なる70年への新しい国づくり」に改憲を表明し、沖繩・辺野古新基地建設、南スーダンPKO派遣「駆けつけ警護」、TPP固執、危険な「共謀罪」法案など暴走を加速させる構えだ。▼米国内「新主義」を掲げるトランプ新大統領の就任への抗議デモ「女性ワシントン行進」に歌手のマドンナさんがサプライズ登場し、「抵抗に。この新しい専制の時代を受け入れることを女性として拒否することに」私たちは恐れていない。私たちは一人ではない。私たちは後退しない」とスピーチ。大統領就任前に自ら渡米して「日米同盟堅持」を誓った安倍首相とは雲泥の差。いまこそ平和憲法による外交努力を(あ)



私は仕事もプライベートも楽しく過ごしたいと思っますが、このままでいいとは思っていません。そんなささやかな願いも叶えられなくなります。みんな患者さんのために必死になって働いています。いつしかそれが当たり前になって、誰も声を上げなくなっているのではないのでしょうか。

働きやすい職場 は先輩たちの支えがあつてこそ



石堂代議員 (女性部)

7月より女性部常任委員として活動しています。9月に京都での「自治体で働く女性の全国交流会」へ参加し、府職労70周年まつりでは、憲法の朗読を女性部で行いました。憲法朗読